

## コンテナのラッシングはどのくらい強く締めるべきか？

こちらは、英文記事「[How tight should container lashings be?](#)」（2019年12月4日付）の和訳です。



ラッシングの締め付けにはスパナを使うべきです。コンテナベイで見られるラッシングの緩みは明らかに好ましいことではありません。では、クルーが、過度な力を加えたり、道具を使って、ラッシングを締めすぎることは問題ないのでしょうか？

答えはノーです。締め過ぎはラッシングロッドに過度の緊張を生じさせることがあり、プレテンションを数トン単位で増やしてしまい、そこに負荷がかかると破損を引き起こす可能性があります。荷役作業やクルーがラッシングを締め付ける際は、スパナだけを使うようにすべきです。この点を強調する注意文を、[MSC.1/Circ.1353/Rev.1](#)、チャプター4の指針に従って作成する「貨物固縛マニュアル（CSM）」に盛り込む必要があります。

この他にも下記の点に注意してください。

- ラッシングは均等に締めること
- ターンバックルが緩むのを防止するためにロッキングナット／チェックナットをロックすること

- 認証された型式のラッシングを使用すること
- ラッシングの外観に損傷がないようにすること
- 固縛方法は CSM の規定に従うこと 船上で使用するラッシング計算用ソフトウェアは、荷重の安定性を計算するソフトウェアと併用することを強くお勧めします。

## 追加情報の入手

損失防止ポスター [Lashing equipment \(ラッシング装置\)](#)

[Gard Guidance on Freight Containers \(貨物コンテナに関する Gard ガイダンス\)](#)

Insight [Container stack collapse - Overweight and unfit containers \(コンテナの荷崩れ – 過重量で不適当なコンテナ\)](#)

Insight [「海上コンテナの落下事故の原因と防止」](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。